

令和5年度 社会福祉法人能生名立福祉会 事業計画

1. 理 念

(1) 法人理念

“誠実・信頼・継続”

- ・福祉の心を持って、安全で安心できる質の高いサービスの提供を心がけ、地域に開かれた施設を目指します。

(2) 経営理念

“持続可能な経営”

- ・法令順守に努め、安定した経営基盤を構築し、利用者の皆様をはじめ、ご家族や地域の皆様に信頼され愛される事業を目指します。

(3) 生活支援理念

“あなたの笑顔こそが私たちの喜びです。”

- ・職員の喜びであるとともに、法人の職員へのメッセージでもある。

(4) 人事理念

“質の高い生活支援は、質の高い職員から提供される。”

- ・特にその場で提供され消費されてしまうケアの質は、質の高い職員が担保することから、いい人材の確保と人材育成の体制を整備する。

2. 基本原則

- (1) 私たちは、利用者の皆様の基本的な人権を尊重し、その人らしさを大切にします。
- (2) 私たちは、地域社会とのつながりを大切にし、地域の皆様から必要とされる施設を目指します。
- (3) 私たちは、利用者の皆様の満足が職員の満足となり、職員の満足が施設の満足となる法人づくりを目指します。

3. 行動指針

- (1) 私たちは、利用者の皆様に職業的に接するのではなく、まず人として接することを心がけます。
- (2) 私たちは、“利用者のために”ではなく、“利用者の立場”になって考え行動することを心がけます。
- (3) 私たちは、気づく力を大切にし、常に専門性の向上に努め、安全で安心な生活支援の提供を心がけます。
- (4) 私たちは、利用者の皆様の様子を説明する機会を多く持ち、ご家族との連携を密にし、信頼関係が築けるよう心がけます。
- (5) 私たちは、施設の開放はもとより人材を地域に広く開放し、「資源としての施設」として地域の皆様から信頼されるよう心がけます。
- (6) 私たちは、常に自己研鑽に励み、福祉の専門職として資質向上を常に心がけます。

4. 生活支援方針

- (1) 私たちは、施設が利用者の皆様の生活の場であることを念頭に置き、常に快適な生活の場であるように努めます。
- (2) 私たちは、介護・看護が一方的になっていないか常に自己点検を行い、批判については謙虚に受けとめます。
- (3) 私たちは、介護・看護にあたり、なぜそのことが必要なのかの理由（エビデンス）を説明できるように努めます。
- (4) 私たちは、利用者、家族からの苦情・意見等に対しては誠意を持って適切に接し、是正・改善に取り組みます。

5. 中期計画

【ビジョン】

- ・法人への信頼を築きあげる。
- ・人を大切にし、人が育つ法人をつくる。
- ・利用者の皆様の安全・安心のため、最善を尽くす。

(1) ハード面

- ① 機械設備の計画的な更新等を行い、業務に支障が出ない施設運営を行う。

(2) ソフト面

- ① 安全で安心な生活支援の提供を基本とする。
- ② 利用者の皆様が、居心地の良い施設を目指す。
- ③ 利用者の皆様の自立を促すことにより、介護の負担を軽くすることを心がける。
- ④ 法人の目指しているものと職員のマインドを合わせる研修を実施し、帰属意識の高い職員の育成を行う。

6. 令和5年度 事業計画

重点目標 「5年後、10年後も地域に信頼される法人であり続ける。」
「職員が安心して働ける職場を作る。」

(1) 社会福祉法人 能生名立福祉会

- ①安定した法人経営に向けて、各事業所の稼働率向上、経費の見直しを行い、事業活動の収益を黒字にする。
- ②組織の見直しや適正な人員配置を進め、効率的な経営を図る。
- ③法人が目指す各理念に基づいた事業展開に努める。
- ④開設から30年経過しており、施設の長寿命化に向けた点検整備に努める。
- ⑤サービスの向上、地域福祉の推進、法人の事業継続に向けて、法人の現状把握と課題分析を行い、今後の方向を明確にするための新たな中期計画を立案する。
- ⑥法人の取り組みを地域へ広めていくため、広報活動を充実させる。
- ⑦職員が安心して働ける職場作りに向けて、課題を分析し問題点を解決していく。

(2) 特別養護老人ホームおおさわの里

<介護課全体目標>

1. 年間稼働率96%以上を目指す。
2. ご利用者が安心安全に過ごせる環境を作る。

<従来型特養 すみれ棟>

【目標】

1. 事故発生件数ゼロを目指す。(令和4年度 9件)

【行動計画】

- 1-① 毎月のユニット会議で発生しそうな事故を予測し、防止策の検討及び実施をする。
- 1-② 事故が発生した場合は速やかに再発防止策の検討及び実施をする。

<従来型特養 あやめ棟>

【目標】

1. 事故なく安全で穏やかな生活を送っていただけるケアを行う。

【行動計画】

- 1-① ご利用者との会話は丁寧な言葉使いを徹底し、穏やかに対応する。
- 1-② 1日3回のミーティング開催、出勤時に必ず申し送りノートを確認することで、ご利用者の状態や状況を把握する。
- 1-③ 職員がお互いに声を掛け合い、協力しながら業務を行う。

<従来型特養 さくら・ゆり棟>

【目 標】

1. ご利用者が楽しい日常生活を過ごせるよう支援する。

【行動計画】

- 1-① ご利用者への声掛けは、必ず視線を合わせて笑顔で行う。
- 1-② 現在行っているケアや業務改善を月1回以上見直す。
- 1-③ 1日1回、各職員が業務優先になっていないか振り返る。

<ユニット型特養 さつき棟>

【目 標】

1. ユニット会議を毎月1回行い、ご利用者と職員が安心安全で快適な生活を送れているか情報の共有と確認を行う。

【行動計画】

- 1-① 職員は事前に議題を1つ以上考え、会議をスムーズに行う。
- 1-② 前月に発生した事故やインシデントを振り返り、事故後の予防対策が適切であるか確認し、改善が必要な場合は見直す。
- 1-③ 会議で決定されたことを職員は徹底する。

<ユニット型特養 わかば棟>

【目 標】

1. ご利用者の健康管理に対して、より一層気を配り、いつまでも健康でいられる。

【行動計画】

- 1-① 口腔ケアや口腔体操を行い、誤嚥性肺炎の発生をゼロにする。
- 1-② 1日1回は体操などで体を動かす機会を作り、気分転換や体重管理に繋げていく。

<ユニット型特養 あかね棟>

【目 標】

1. ご利用者、職員共に穏やかに過ごせる環境作りを継続する。

【行動計画】

- 1-① ご利用者と担当職員との話し合いを毎月持つ。
- 1-② ユニット会議を毎月開催し、業務の振り返りを行い、業務改善に活かしていく。
- 1-③ 出勤後に必ず申し送りノートを確認し、引き継ぎ等の内容を「知らなかった」「聞いていなかった」「つながらなかった」がないようにする。

<生活相談員・介護支援専門員>

【目 標】

1. 退所から新入所までの間隔を2週間以内に行う。
2. 顧客満足度と職員満足度の向上を目指す。

【行動計画】

- 1 - ① 次期入所候補者として常時8名の方の状態確認を行う。
- 1 - ② 状態確認後の情報を3日以内に整理し、Slackを用いて全棟に情報共有し、受入れ体制の早期構築につなげる。
- 1 - ③ 入院者の情報を週1回（毎週金曜日）確認し、退院や退所に備える。
- 2 - ① 中堅職員研修を年2回実施する。
- 2 - ② 月2回ご利用者と直接会話する。

<看護課>

【目標】

- 1. ご利用者が安心安全な生活を送れるよう、他職種と連携をとり、適切な看護を提供する。

【行動計画】

- 1 - ① 医務会議、看護課共有ノートを活用し、情報共有をする。
- 1 - ② 介護士との情報を共有し、早期受診に繋げる。
- 1 - ③ 感染症が疑われる場合は速やかに感染対応を行い、拡大防止に努める。

<栄養課>

【目標】

- 1. ご利用者に安心安全な食事提供を行う。

【行動計画】

- 1 - ① 厨房内での異物混入をゼロにする。
- 1 - ② 業務分担に責任を持って、実施や記録を行う。

<庶務課>

【目標】

- 1. 職員が働きやすい環境を整備し、安全衛生面の管理やハラスメントに対応できる体制を作る。
- 2. 業務の効率化とケアレスミスゼロを目指し、時間的コストの削減に努める。

【行動計画】

- 1 - ① すべての方に気持ち良い挨拶や返事を心掛け、丁寧な言葉で接する。
- 1 - ② 労務管理に関する法改正や働き方改革の推進に対応できるよう、セミナー等に参加し知識を得る。
- 2 - ① slackやインターネットバンキングを活用する。
- 2 - ② 伝達ミスをゼロにし、つねに声を掛け合い、お互いの業務をフォローする。
- 2 - ③ ダブルチェックを基本とし、時間配分を見極めながら、時間と気持ちに余裕を持って業務を進める。

(3) 短期入所生活介護おおさわの里（ショートステイ）

【目標】

1. 年間稼働率85%以上を目指す。
2. ご利用者、ご家族の状態や状況等を把握し、良いサービスを提供する。

【行動計画】

- 1-① ショートの長期利用が必要な方を受け入れていく。
- 1-② 新規利用者の受け入れをスムーズに行う。
- 2-① 職員会議を毎月1回開催し、ご利用者への対応について検討する。
- 2-② ご利用者の情報は、職員全員が把握できるように、職員間で伝達していく。

(4) デイサービスセンターおおさわ

【目標】

1. 年間稼働率90%以上を目指す
2. 「ここがいい」と選んでもらえる施設を目指す。

【行動計画】

- 1-① 空き状況が分かるよう、関係事業所へ毎月1回以上周知する。
- 1-② 毎月の稼働率を分析して、課題等を明確化にし、職員間で共有する。
- 2-① 職員会議を毎月1回開催して、業務内容やご利用者との関わり等について検討・改善を行う。
- 2-② 関係事業所と連携し、地域のサロン等へ年2回以上職員を派遣し、事業所の取り組みや強みをアピールする。

(5) デイサービスセンターささら苑

【目標】

1. 年間稼働率85%以上を目指す。
2. 全職員の質、接遇、人間力の向上のために研修、実践を行い、ささら苑の価値を高める。

【行動計画】

- 1-① 職員はモチベーションの維持や働きやすい環境整備のため、ご利用者は身体機能維持及び向上を目指し、趣味や特技を生かした支援を実践し、地域から選ばれる施設を目指し、稼働率向上につなげる。
- 2-① 全職員の質、接遇、人間力の向上の研修を毎月の職員会議で行い、業務に反映をさせる。また、評価を行う。

(6) 在宅介護支援センターささら苑

【目標】

1. ご利用者のニーズを的確に捉え、ニーズに応じた支援ができる。
2. 安定した運営を目指す。

【行動計画】

- 1 - ① 知識向上に向けて各々の研修計画及び研修目標を設定し、それに沿った研修に年2回以上参加する。
- 1 - ② 支援の幅を広げるため、事業所内の事例検討会を年4回行う。
- 1 - ③ 毎日の朝礼で困っている支援について相談しあい、より良い支援方法を見つける。
- 2 - ① 各ケアマネジャーは新規依頼を積極的に受け入れ、前年度の稼働率以上を目指す。
- 2 - ② 印刷ミスの削減や節電を心掛け、経費削減に努める。

(7) 能生地域包括支援センター

【目 標】

1. 地域ケア会議の充実
2. 生活支援体制整備事業を用いた地域支援
3. 認知症支援の地域づくり

【行動計画】

- 1 - ① 磯部地区における地域課題抽出のための地域ケア会議を居宅と連携し年4回行う。
- 1 - ② 地域ケア会議で抽出した地域課題を分析し地域支援事業の開発に繋げる。
- 2 - ① 上南地区で行う生活支援体制整備事業の後方支援を行い事業の円滑化を図る。
- 2 - ② 磯部地区を重点支援地区と選定し関係機関と連携強化を図り実態把握を行う。
- 3 - ① 地域住民の認知症理解を深め、見守り等支援体制の構築を図る。
- 3 - ② ひとり歩き高齢者サポート事業の評価を定期的に行い常に最新情報の把握に努める。

(8) ケアハウス ハイツ能生

【目 標】

1. ご利用者の健康維持と介護予防に取り組む。
2. 年間稼働率88%以上を目指す。

【行動計画】

- 1 - ① 職員の目配りや気配りを徹底し、ご利用者の体調不良や居住環境の不具合や問題などを早期に発見し対応する。
- 1 - ② ご利用者の興味や関心に合わせた運動や脳トレを毎日の体操タイムに行う。
- 1 - ③ 毎月1回の全体行事で、頭や体を使うレクリエーションを行う。
- 2 - ① 待機者確保のため、関係機関との連携を綿密に行い、空室や待機状況の情報を発信していく。
- 2 - ② ハイツ能生を周知するため、地域への広報活動に取り組む。

7. 予算関係

(1) 固定資産

科目	拠点	内容	金額
建物（基本）	おおさわ	さくら棟・空調設備更新	15,000,000円
		<内訳>	
		・電気工事一式	10,000,000円
		・機器工事一式（2階居室系統）	5,000,000円
		あやめ棟浴室給湯配管系統更新工事	3,800,000円
		あやめ棟給湯配管系統更新工事	3,000,000円
		合計	21,800,000円
器具及び備品	ささら苑	NASシステム更新	500,000円
		合計	500,000円
総合計			22,300,000円

(2) 事業費

科目	拠点	内容	金額
賃借料 (6年リース)	おおさわ	短期入所・送迎車両	月額 24,800円
		ダイハツ・ハイゼット 車椅子乗降用スロープ付	年額 297,600円 (6~7月納車予定)
賃借料 (7年リース)	ささら苑	支援ささら・訪問車輛 (ダイハツ・ミライースの予定) < 令和5年度内に <u>契約のみ</u> >	R6.5車検満了 (13年経過) 年額 225,000円